設置完了後の確認

■設置終了後、次の手順で確認をし、チェック欄に ✓ 印をしてください。

確認項目				チェック
包装材料の取り外し	操作部止めテープ・ロースター扉の内側の紙			
付属品などの取り付け	吸・排気パネル・飾り枠・サイドカバー・ロースター部（扉・受け皿・焼き網）			
外　観	フレームが浮いていないことを確認する			
	トッププレートが汚れていないことを確認する			
電気試験	**1** 電源電圧が単相200Vであることを確認する ※単相100Vでは、電源スイッチを入れたときに H20 を表示します。 → 単相200Vに接続しても表示が消えない場合は故障です。			
	2 電源スイッチを入れる	→	通電ランプが点灯する	
	3 左右IHヒーターは [切/入] キーと [切/入] キーで、ラジエントヒーターは [切/入] キーを操作し、作動を確認する ● 必ず水を入れたなべを置く。（空だきしない） ※付属の天ぷらなべを空だきすると、やけどや、なべの破損・変形、トッププレートを汚す原因になります。 ※なべを置かないと「なべなし自動OFF」が働いて約１分後に自動的に通電を停止します。 ※ [揚げ物 切/入] キーで操作した場合、次のようになることがありますが、異常ではありません。 ●なべが熱くなるまで時間がかかる ● U15 を表示し通電を停止する	→	しばらくすると湯が沸く U15 表示は再度 [揚げ物 切/入] キーを押すと消えます。	
	4 ロースターは [切/入] キーを操作し、作動を確認する ●ロースター受け皿に水（約200ml）を入れて通電する。 ※水を入れないでキーを操作すると、「ロースター受け皿高温検知」が働いて、U11 を表示し通電を停止します。 ※ラジエントヒーターと同時に使用できません。	→	しばらくすると庫内が熱くなる U11 表示は再度 [切/入] キーを押すと消えます。	

■電気試験後は
- 必ず電源スイッチを「切」にしてください。
- 同梱の天ぷらなべを使った場合は、必ず水を捨ててよくふいてください。
- 天ぷらなべ・取扱説明書・設置説明書・保証書は、必ずお客様にお渡しください。

設置完了確認者印	

製造元　パナソニック電工株式会社
パナソニック株式会社　IHクッキングヒータービジネスユニット
〒651-2271 神戸市西区高塚台1丁目5番1号

ZY16-805
S1008Y0

設置説明書

Panasonic®

IH クッキングヒーター（ビルトインタイプ）

品 番 KZ-E32A2P
（20Aタイプ）

設置される方へのお願い
- 排気接続のビルトイン電気オーブンレンジを設置する場合は、必ず電気オーブンレンジの設置についての説明書に従ってください。
- ガス機器から付け替える場合
  ガス事業者に連絡しないでガス工作物（ガス配管、ガスメーター、ガス栓など）を無断で撤去することは、法令により規制されています。
  事前にガス事業者へ連絡してください。また、閉栓はガス事業者に依頼してください。
- 試運転を必ず行い、お客様へ正しい使い方をご説明ください。
- 設置説明書に従わなかったために生じた故障・事故などについては責任を負いかねます。

1 安全上のご注意 必ずお守りください（設置上のご注意）

設置の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ工事してください。

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
	この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

	この絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
	この絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

⚠警告

設置は、この「設置説明書」に従って確実に行う

設置に不備があると、漏電・火災の原因になります。

分解禁止

絶対に分解・修理・改造は行わない

火災・感電・けがの原因になります。
●トッププレートや操作部ユニットの分解など。

200V・20A以上の専用回路と漏電遮断器を設置する

この工事をしないと、配線部が異常発熱する原因になります。

アース線接続

アースを確実に取り付ける

漏電時に感電の原因になります。

電気配線工事は、電気設備技術基準等、関連する法令・規制等に従って必ず「法的有資格者」が行う

接続・固定が不完全な場合は、漏電・火災の原因になります。

アース線接続

アース工事は、電気設備技術基準等、関連する法令・規制等に従って必ず「法的有資格者」によるD種接地工事を行う

漏電時に、感電の原因になります。

⚠注意

トッププレートに衝撃を加えない

万一ひびが入ったり割れると、過熱・異常動作・感電の原因になります。
※トッププレートの上に乗ったり、物を落としたりしない。

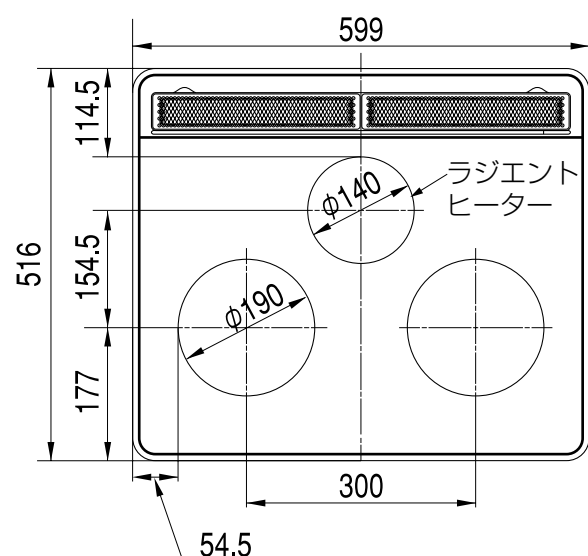
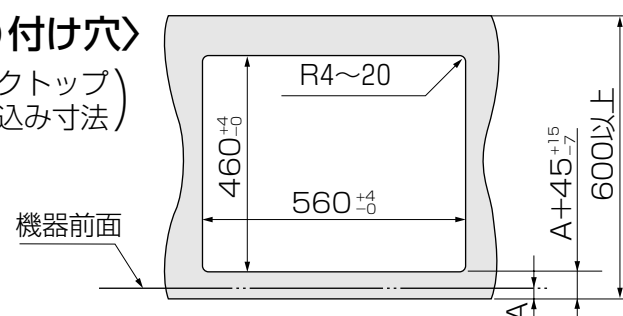
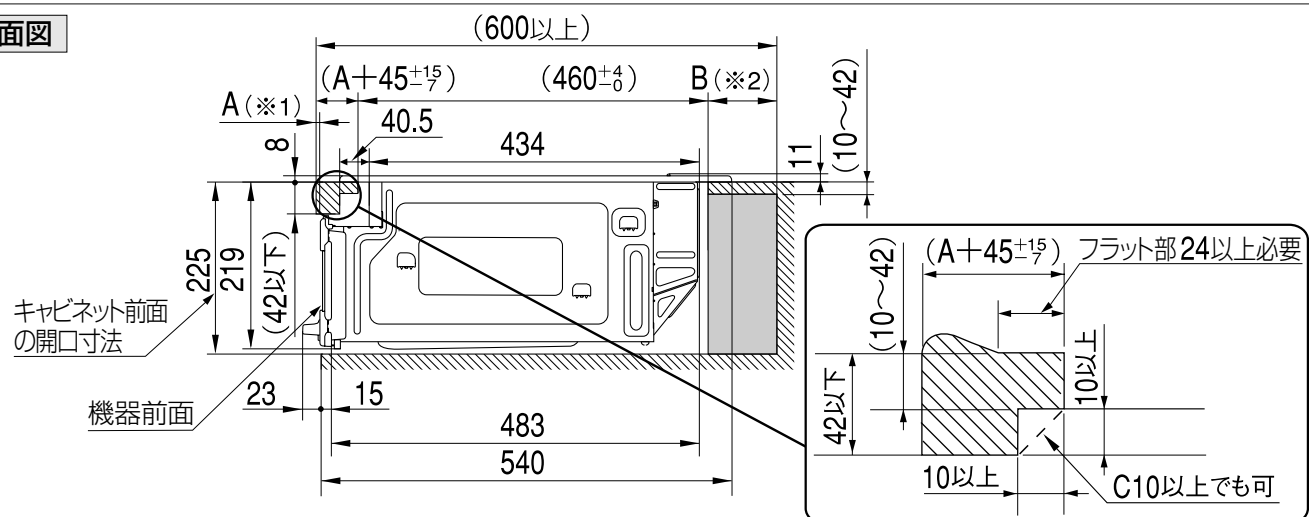
試運転中は、トッププレートやロースター扉など高温部に触れない

やけどの原因になります。

ワークトップの材料は、耐熱材料の物を使う

- 熱硬化性樹脂高圧化粧板（JIS K 6903）またはこれと同等以上の物。
  耐熱性の低い材料を使用すると、変形・火災の原因になります。

※ニス引きのものは変色するため、使わない。

2 外形寸法図 （単位：㎜）

※1：A寸法は、ワークトップ前面とキャビネット前面（機器前面）との差です。
※2：B寸法（後方スペース）が80mm以上あれば、パナソニック電工製の露出コンセント（WKS294）が使えます。
- コード長さ：約0.7m

3 設置場所の確認

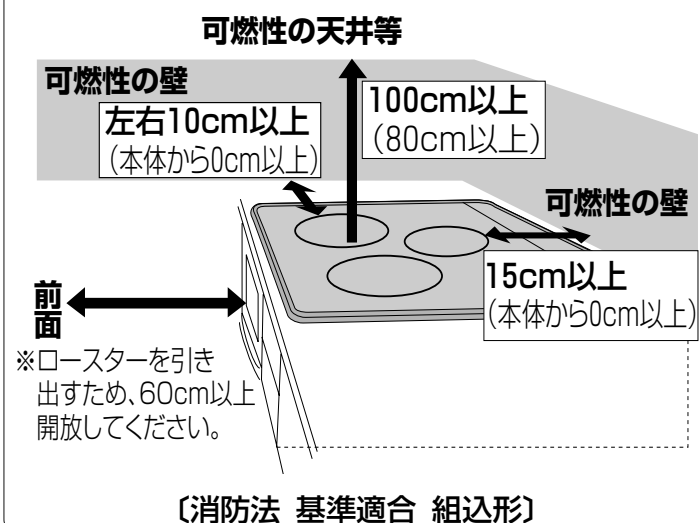
火災予防条例、電気設備に関する技術基準を定める省令第59条に従って設置してください。

壁からの距離

■周囲が可燃性の壁（防火構造壁以外）の場合

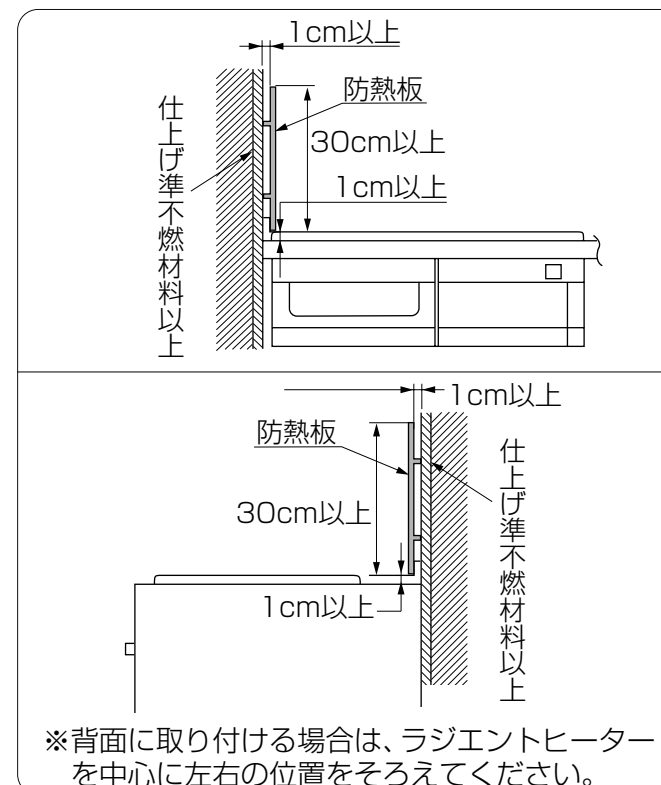
- （　）内は不燃性の壁もしくは、防熱板を取り付けた場合

可燃性の天井等
可燃性の壁
左右10cm以上（本体から0cm以上）
100cm以上（80cm以上）
可燃性の壁
15cm以上（本体から0cm以上）
前面
※ロースターを引き出すため、60cm以上開放してください。

〔消防法 基準適合 組込形〕

お願い

- 製品の金属部がキッチンの金属部に接触する場合は、建造物の壁中の金属（メタルラスなど）とキッチンの金属部が接触しないようにしてください。
  （電気設備技術基準第167条で危害なきよう設置することが定められています。）

■可燃性の壁から左記の距離を離せない場合は防熱板を取り付ける

※背面に取り付ける場合は、ラジエントヒーターを中心に左右の位置をそろえてください。

4 電気工事 必ず電気工事士の免許をお持ちの方が行ってください。

専用回路の設置

■電源にブレーカー付き単相200V・20Aの専用回路を設置する

- 三相200V（動力電源）は使わないでください。（故障の原因になります。）

■屋内配線用電線は、線径φ2.0mmのものを使う

※φ2.6mm以上にしておくと、将来的に30A製品を設置するときにも対応できます。

漏電遮断器の設置

■漏電遮断器を必ず設置する

- **推奨漏電遮断器**（パナソニック電工製）

品　番	BJS2022N(HBモジュール) または BSHE22022(コンパクトタイプ)
定格電流	20A
感度電流	15mA

※上記以外では、IHクッキングヒーターに適さないものがあります。

コンセントの設置

D種接地工事を必ず行ってください。（コンセントの一極接地用に配線してください。）

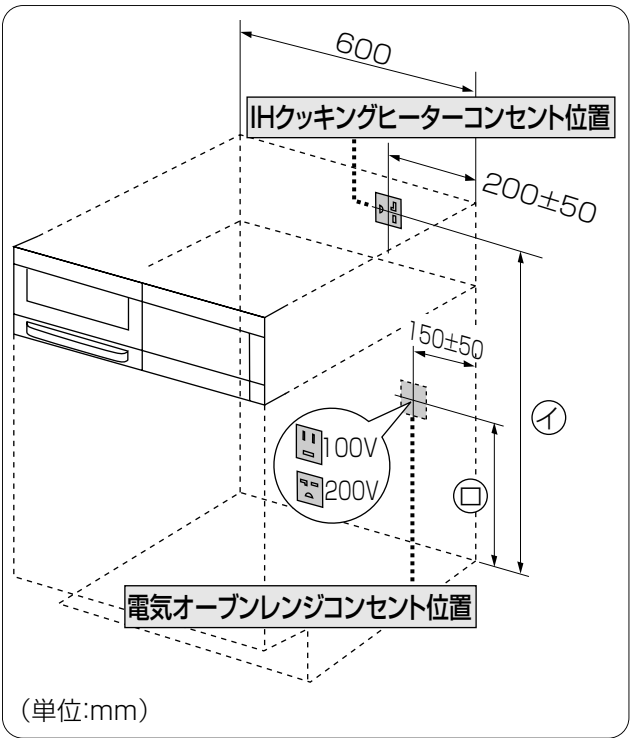
■コンセントの種類

●**推奨コンセント**（パナソニック電工製）

	IHクッキングヒーター 200Vコンセント	電気オーブンレンジ	
		100Vコンセント	200Vコンセント
定　格	単相250V・20A(接地2P)	単相125V・15A(接地2P)	単相250V・20A(接地2P)
品　番	WN1932（埋込型）に相当するもの WKS294（露出型）	WN1031（埋込型）に相当するもの	WN1932（埋込型）または WKS294（露出型）に相当するもの

■コンセントの位置

●コンセントの取り付け位置

キッチン高さ	IHクッキングヒーターコンセント ㋑寸法	電気オーブンレンジコンセント ㋺寸法
850mm	700±15mm	商品によって異なります。詳細は電気オーブンレンジの設置についての説明書をご覧ください。
800mm	650±15mm	

■仕切り板のあるキャビネットで仕切り板より下にコンセントを設置する場合

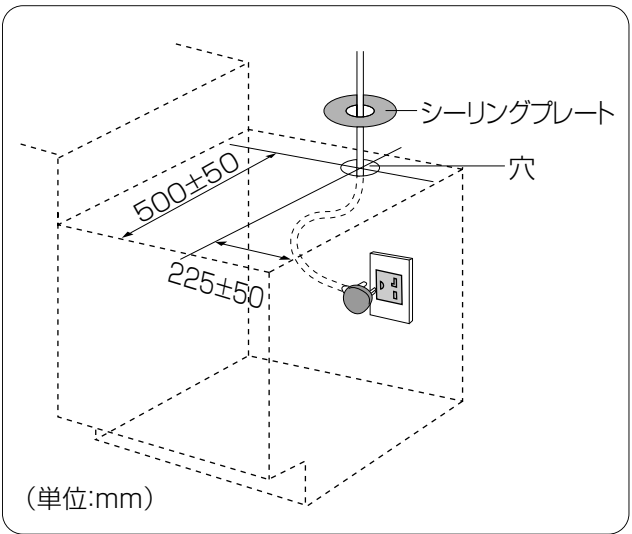
ホールソーなどを使い、φ48mm以上φ60mm以下の穴を開ける。

※開口した穴をふさぐときは、シーリングプレートを貼り付けてください。

●**シーリングプレート**（あっせん品）
品番：KZ-043

シーリングプレートは「お買い求め先」にお問い合わせください。

※詳細はシーリングプレートに添付の説明書をご覧ください。

シーリングプレート
穴
500±50
225±50
（単位:mm）

お願い

●電源コードがよじれたり、負担がかからないようにIHクッキングヒーターコンセントの向きに注意してください。

5 設置前の準備

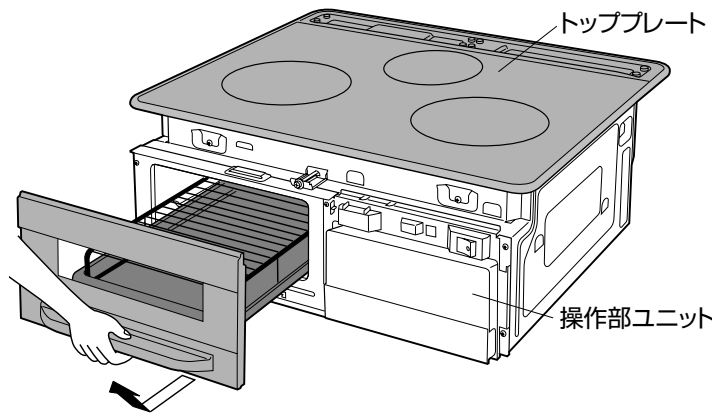
■包装材料を取り外し、付属品を確認する

サイドカバー	吸・排気パネル	飾り枠	焼き網	天ぷらなべ
各1個（左側用）（右側用）	2枚	1個	1個	1個

●取扱説明書、保証書があることを確認してください。
●操作部止めテープ・ロースター扉止めテープをはがし、焼き網の包装材を取り除いてください。

■ロースター部（扉・受け皿・焼き網）を取り外す

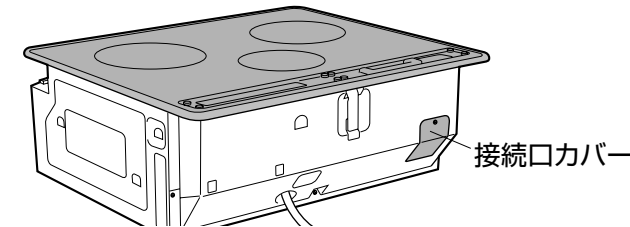
扉の取っ手を持って引き出し、斜め上に引き上げる。

●トップブレートや操作部ユニットを分解しないでください。
（接続線が外れて、故障します。）

■排気接続のビルトイン電気オーブンレンジを設置する場合

IHクッキングヒーターに、電気オーブンレンジ付属の「排気筒」を接続する作業が必要です。

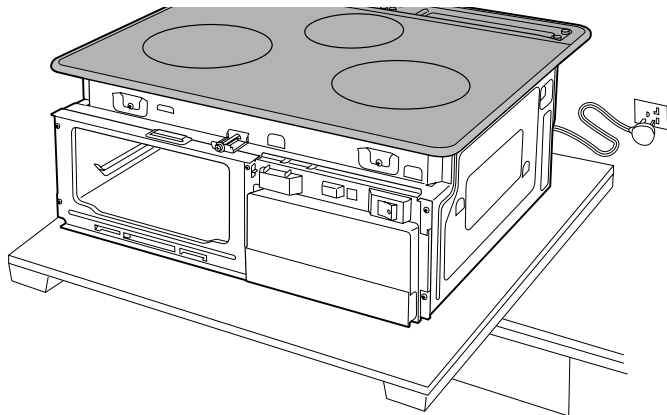
●IHクッキングヒーターを設置する前に背面の接続口カバーを外す。

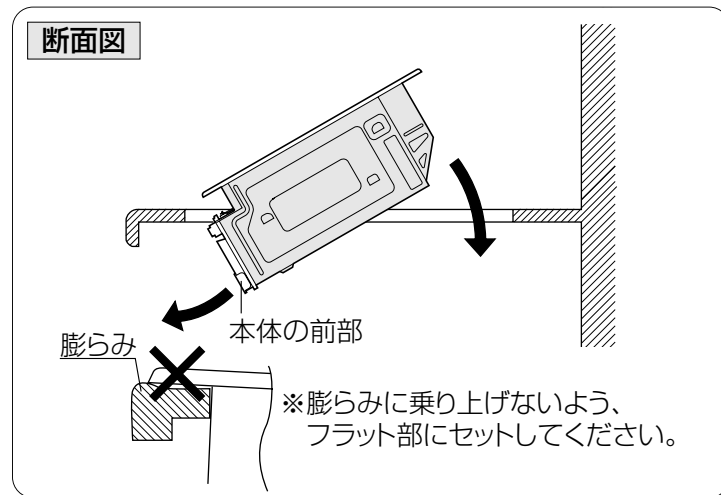
●IHクッキングヒーターと電気オーブンレンジの前面の位置をそろえて設置し、IHクッキングヒーターの排気口から「排気筒」を挿入して、電気オーブンレンジの排気口に接続する。

※詳細は電気オーブンレンジの設置についての説明書をご覧ください。

※上記の電気オーブンレンジを設置しない場合は接続口カバーを外さないでください。

6 本体の設置

1 電源プラグを差し込む

●ワークトップに傷を付けないように包装用のダンボール板を敷く。

2 ワークトップに本体の前面を挿入し全体をはめ込む

- 前面のスイッチや前板をワークトップに当てない。
  （スイッチの破損や前板に傷が付く原因になります。）
- フレーム下面とワークトップのすき間が、前後左右で均一であることを確認する。
  （本体挿入時に、電源コードが本体底面とキャビネットの間に挟まると、本体が浮いてすき間がバラつきます。）

3 サイドカバーを取り付け本体の位置を調整する

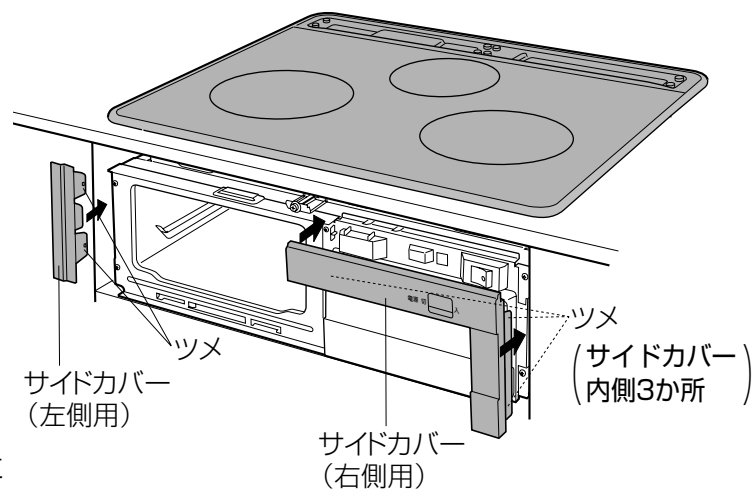
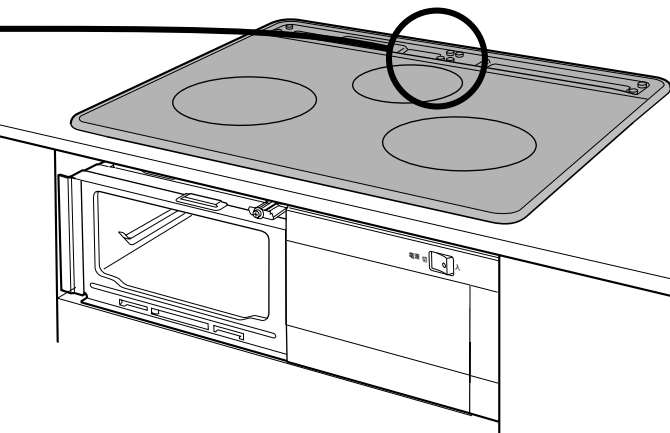
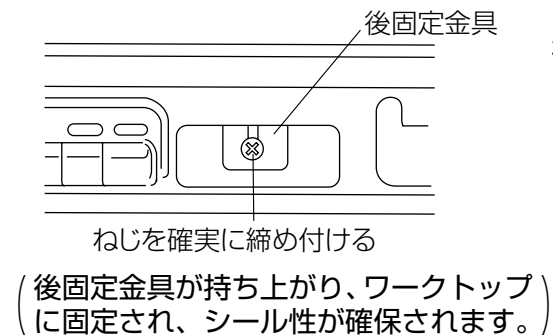
❶左右側面にサイドカバーを取り付ける（ツメを勘合させる）

❷キャビネットとサイドカバーのすき間が左右で均一になるように、本体の位置を調整する

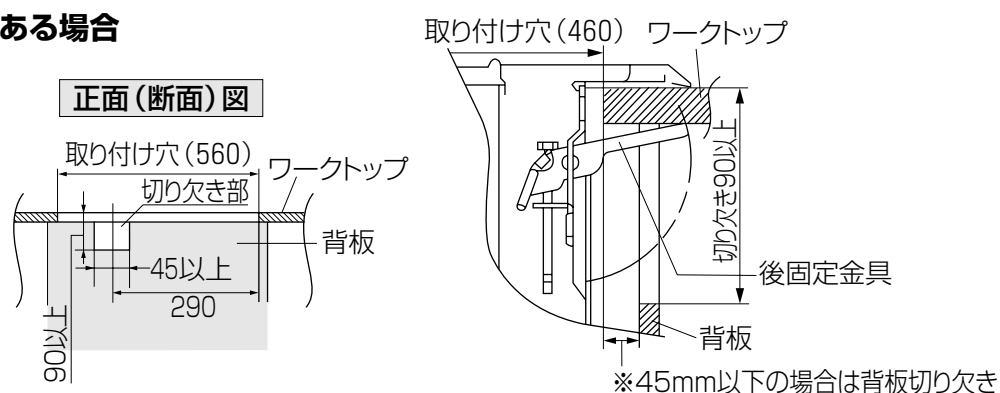
❸キャビネットの扉面に本体前面が合うように、本体の位置を調整する

- ロースター部を仮セットすると、位置を合わせやすい。
  ※調整後は、前固定金具を締めるために再度ロースター部を外してください。

4 後固定金具を固定する

（後固定金具が持ち上がり、ワークトップに固定され、シール性が確保されます。）

キャビネットの後方に背板がある場合

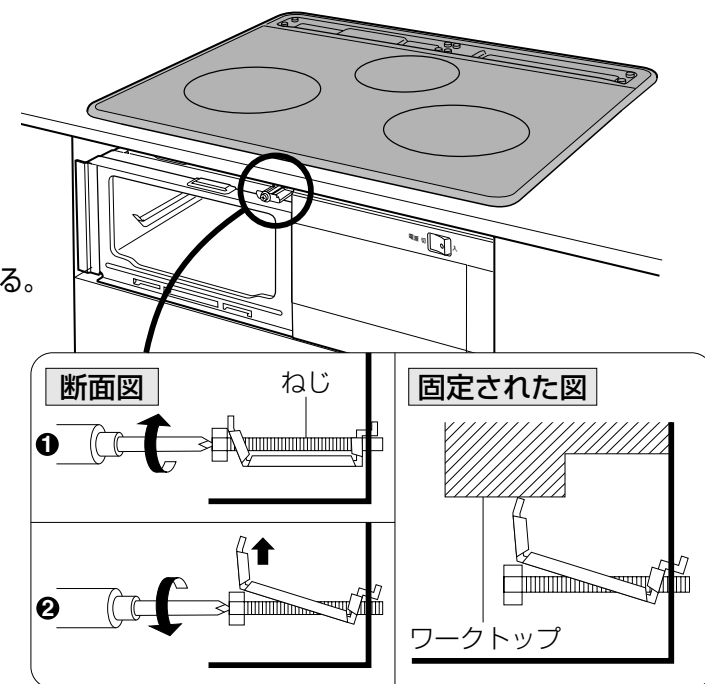
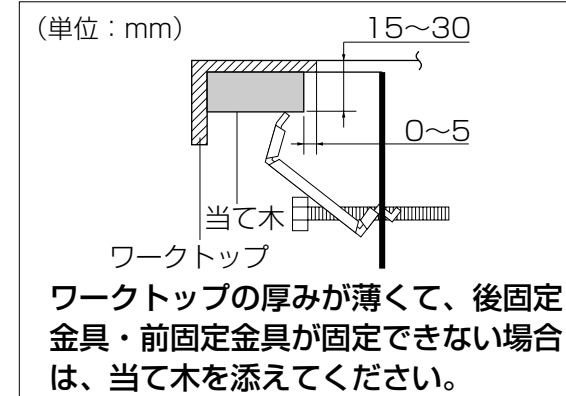
- 背板位置がキャビネットの取り付け穴から45mm以下の場合は、後固定金具が通るよう背板に切り欠きを設ける。

（単位：mm）

5 前固定金具（中央1か所）を固定する

❶ねじを緩めて、前固定金具を緩める

❷前固定金具をねじの上に載せるようにセットし、ねじを締め付けてワークトップの裏面に固定する

- ドライバーの先や根元などで製品を傷付けないようにする。
  ※先の長い（約70mm以上）ドライバーをお使いください。
- 固定後は、フレームを押して動かないことを確認する。

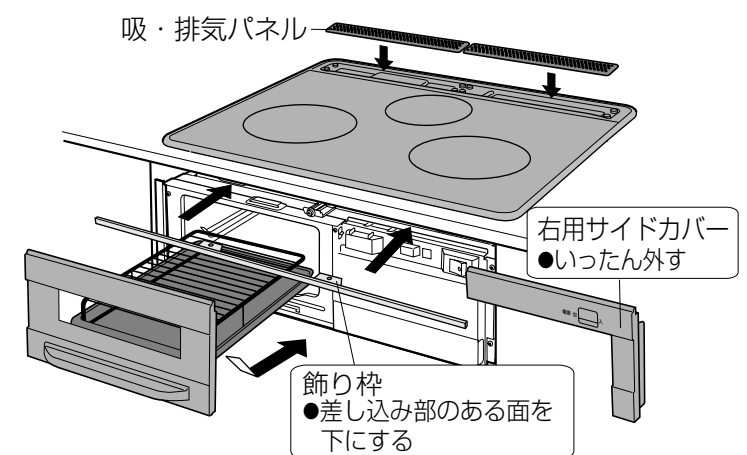
ワークトップの厚みが薄くて、後固定金具・前固定金具が固定できない場合は、当て木を添えてください。

7 設置完了後

付属品およびロースター部（扉・受け皿・焼き網）の取り付け

❶吸・排気パネルを取り付ける

❷右用のサイドカバーを外し飾り枠を取り付ける

- 取り付け後は、サイドカバーを元通りにセットする。

❸焼き網を受け皿にセットし、ロースター部を斜め上からはめ込み奥まで押す

前パネル（あっせん品）を必要とする場合

- キャビネット前面の開口寸法が、標準（225mm）より大きい場合に必要です。（外形寸法図参照）

	前パネル品番
245mm	AD-KZ042-25
270mm	AD-KZ042-50
300mm	AD-KZ042-80

※詳細は前パネルに添付の設置説明書をご覧ください。

お問い合わせ先：パナソニック電工ホームエンジニアリング株式会社
システム部材開発センター
(06)6942-6202

（2008年10月現在）